

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	府中市立府中学園	校長	池田 哲哉	担当者名	上 勿 亨
取組事例名		『心を密にする掲示板』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通した絆づくり	
<b>取組における育てたい資質・能力</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力</li> <li>・共生的な態度</li> </ul>					
<b>取組のねらい</b>					
<p>臨時休業明けの登校に向けて不安な気持ちを抱えていることが考えられるため，児童生徒同士が交流できる場を設定することで，気持ちを和らげてスムーズな登校につなげる。</p> <p>自らの思いを発信するとともに，クラスメイトと協同した取組を行うことで，児童生徒同士のつながりを深める。</p>					
<b>取組の具体的内容</b>			<b>取組の創意工夫</b>		
<p>各学年の発達段階に応じて，交流の場を設定した。ここでは7年生の取組を紹介する。</p> <p>写真のような「LINE」をイメージした模造紙を用意した。最初のお題を担当が提示し，朝学活の時間にAグループの生徒が付箋で返事を書いた。帰り学活の時間に，AグループがBグループに対してのお題を考えて提示し，Bグループの生徒が付箋で返事を書いた。</p> <p>このやりとりを繰り返し行いながら，臨時休業中の様子や気持ちについて交流を深めた。</p>					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員がコメントを書く。 (自己決定の場を与える)</li> <li>・全員のコメントを掲示する。 (自己存在感を与える)</li> <li>・クラスメイトの考えを見た上で，相手グループへのお題を考える。 (共感的人間関係の育成)</li> <li>・教員の手立てとして，マイナス方向に向くようなお題にならないように留意した。</li> </ul>		
<b>取組の成果と課題</b>					
<p>7年生へアンケートを行った結果，【取組をしたおかげで，登校しやすかった】という質問に肯定的に答えた生徒が80%いた。理由としては，「次はどんな話題にしようかな。」「どんな返事が返ってきているかな。」など楽しみが増えたという意見があった。否定的に答えた生徒の意見としては，「この取組がなくても登校しやすかった。」という意見があった。【取組をしないより，した方が良かったと思う】という質問に肯定的に答えた生徒が88%いた。理由としては，「共通の話題があることで，登校して話しかける際の話題にすることができた。」という意見があった。</p> <p>この取組を通して，児童生徒同士の交流を深めるだけでなく，教員も臨時休業中の児童生徒の様子を知ることができ，児童生徒理解を深めることができた。</p>					